



ナイス福岡 会報

くすのき

2022年6月
第 **323** 号



● 日に日に緑が増していく、この季節。そんな草むらをよくよく見ると、

色とりどりの可愛らしい花が沢山。小さな虫たちも忙しそう。 aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会(129回)

日時：6月18日(土) 10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

6月19日（日）7月17日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

6月26日（日）7月24日（日）
久末ダム探鳥会（福岡市）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7月3日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

7月9日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

7月10日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

7月5日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

6月26日（日）
高良山（久留米市）
時 間：9:00～12:00
集 合：高良下宮社
問合せ：090-4357-3043（溝田康博）
参加費：会員 100円 一般 200円
高校生 100円
（中学生以下無料）

福岡植物友の会

6月19日（日）
久原ダム
問合せ：佃 昇（092-662-2983）

久留米の自然を守る会

7月9日（土）
浦山公園
時 間：9:30～13:00
集 合：浦山公園駐車場
参加費：300円
指 導：金子周平氏
問合せ：080-6425-1635（河内）
要虫除け対策 小雨決行

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

7月2日（土）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:00
（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きもの情報を載せて
います

和白干潟を守る会

6月25日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6月25（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



2022年5月

私のデジカメ日誌より
本のむし

今回は、5月1日(旧暦4月1日)~5月31日(旧暦5月2日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



5月1日(旧暦4月1日) 福岡市城南区片江
林道脇のマムシグサの肉穂花序の先っぽに、5 mm程のコ
ハナグモが待ち伏せをしていた。背中中の模様が人面だっ
た。見る角度でいろんな顔になった。おっさん顔。



5月3日(旧暦4月3日) 春日市春日公園
コゲラが木の実のようなものを盛んにつついていて。この
樹はイスノキだそう。とすればこれも虫こぶか？中にア
ブラムシがいるのかな。



5月11日(旧暦4月11日) 鹿島市新籠海岸
潮水をかぶる岩の上に地衣類が着いていた。身近にみる
地衣類は、山や町中の樹木や石垣、岩など塩分とは縁の
薄い世界だ。調べてみると、海岸性地衣類という研究分
野があるようだ。過酷な環境にも適応しているようだ。



5月13日(旧暦4月13日) 筑紫野市天拝坂
庭のミツバアケビの葉の中に、枯れて丸まったところがあ
った。アケビコノハの繭かもしれないと思い、しばらく観察
してみる事にした。幼虫はたくさんいたので、スズメに食
べられなかったものが蛹になるかも。



5月24日(旧暦4月24日) 筑紫野市山口兎ヶ原林道
イヌビワの実の上で、4 mm程のゾウムシを観た。色は少し
黒っぽいのだが、イヌビワシギゾウムシでしょうか。こう
して観ると長い吻だね。私に驚いて吻を引き抜いたあとに、
イヌビワの果汁が小さな玉になった。



5月24日(旧暦4月24日) 筑紫野市山口兎ヶ原林道
林道の傍らにサイハイランの一群があった。武将が戦場
で指揮する時の采配が名の由来とか。柱頭に黄色の花粉
塊が観え、紫紅色の唇弁が囲んでいる。葉は1枚だった。
日本の山野に普通らしいが、一部では絶滅危惧らしい。

会員からの投稿(1) 浜田和美

5/27 たまには作られた世界を見てみたくて、マリンワールドへ行ってきました。やはり美しいですね。たくさんの海の生き物に癒されました。そうそう、津屋崎にも時々現れるスナメリ、ほんとに可愛い顔してますね。



5/29

ほたるの里(福津市の小さな山の中の公園)へ行きました。一番高いところにいたこの子がとても可愛くて、持ち上げてみても飛ぶこともなく、愛らしい表情を見せてくれました。名前は不明ですが…



同じ山の途中にいたこのオレンジの蛾はとても美しく、この写真よりもさらに美しく感じました。ベニイカリモンガかな？

会員からの投稿(2) 唐津浜崎海岸にて(2022年 5月15日)

私の子供の頃は、砂浜一面に咲きほこっていたハマヒルガオ。最近では、マリンスポーツ、外来植物の影響、砂浜の減少によって、すみっこに追いやられています。今年は、割りとたくさん見る事が出来ました。 原 桂子



会員からの投稿(3) 田村耕作

福岡市役所1階にて 環境月間に合わせて、2022年5/20～5/27まで「生きものと私たちの暮らし展」が開催されました。

ナイス福岡も参加し、会報くすのきを拡大して展示しました。主催者(福岡市)によると、暮らし展の観覧者数は2,246名、たくさんの方に見ていただきました。



暮らし展の観覧者数は2,246名ということになり、たくさんの方に見ていただきました。

春日公園自然観察会 令和4年05月21日(土)【参加者数】5人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。

観察内容 初夏、小さな花に注目して観察。

植物 ニワゼキショウ、カタバミ、シロツメクサ、メリケントキンソウ、ツメクサ、コメツブツメクサ、タチイヌノフグリ、ウラジロチチコグサ、ヌカススキ、ヒメコバンソウ、ブタナ、ニガナ、ノゲシ、ハコベ、オニタビラコ、ミズタビラコ、ヒナギキョウ、

植え込みの中で育つ種：クロガネモチ、ナワシログミ、アキニレ、エノキ、ユズリハ、クスノキ、ムベ、シャリンバイ、カラスノエンドウ、ハマヒサカキ、イヌビワ、アカメガシワ、アラカシ、ノイバラ、マンリョウ、タブノキ、ムクノキ、スイカズラ、トウカエデ

野鳥 ダイサギ、メジロ、キジバト、スズメ、ツバメ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、カワラヒワ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル

感想(参加者の声)

- ・ハリエンジュの幼木がたくさん生えていたことに驚いた。
- ・サザンカの植え込みに、別種の木がたくさん観察できた。
- ・公園管理の草刈りに耐えたニワゼキショウ、すごいと感じた。
- ・側溝で芽生え、育っているクヌギに感激した。
- ・ネジバナの解説で、ラン菌との関係が印象に残った。

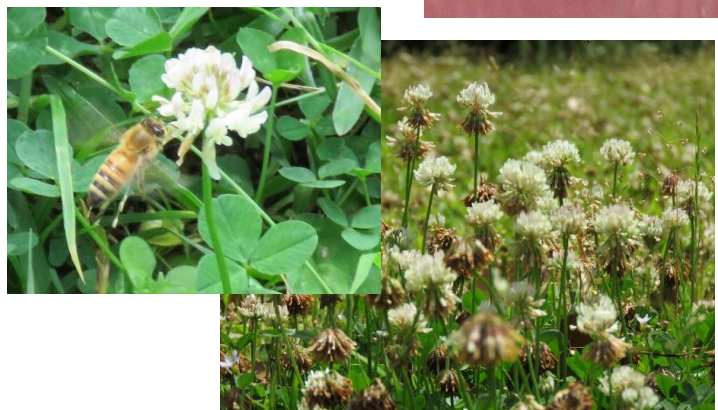
ニワゼキショウの種



観察会風景



シロツメクサの花とミツバチ



メリケントキンソウ(種にトゲ)



コナスビ(サクラソウの仲間)



ネジバナ



テントウムシ蛹



観察したサザンカの植え込み



◆定例総会の議題（会報にて）

- 1) 2021 年(2021 年 6 月～2022 年 5 月) 活動報告
- 2) 2022 年度活動計画
- 3) 決算と予算について
- 4) 事務局体制



2022・5/21 春日公園にて

議題内容

1) 2021 年度(2021/6～2022/5) 活動報告

- ・2021 年 6 月から、コロナ禍の対応で、6 月、8 月、9 月の 3 回、春日公園自然観察会を中止。2021 年 7 月から 9 回実施した。コロナ禍の拡散防止のために公園の使用が禁止された。
- ・10 月の 環境フェスティバルふくおか 2021 は、コロナ禍で中止。
- ・2022 年 5 月 20 日～27 日 福岡市役所 1 階の生きものと私たちの暮らし展 参加
- ・その他関連 *『自然感 くすのき』のシリーズについて、続いています。

★会報の 1 ページ(第 311～322 号)継続中。投稿者「さんじゃく」。

★春日公園自然観察会報告、★私のデジカメ日誌より(12 回)★窓越しの自然観察より(8 回)

★持続可能な開発目標 SDGs の話(8 回)

★会員各位の投稿(合わせて 25 回)

【その他関連】

春日公園での探鳥会に協力(日本野鳥の会福岡支部とナイス福岡の共同実施)

毎月第 1 火曜日の 10 時から 12 時まで。毎回 20 名前後の参加者有り。

【各会員の所属する団体の活動例】

◇三国丘陵の自然を楽しむ会 松永紀代子会員活動報告

★ 筑紫野市の南端、小郡市の北端、佐賀県の東端に位置する三国丘陵、昆虫や野鳥の記録はほとんどありませんでした。2004 年に会を立ち上げ、その間コツコツと目撃したものを記録してきました。

月に 1 回定期的に観察会を行い、また、会員諸氏のフィールドの目撃記録を月に 1 回(会報・付録として)配布しています。年々開発が進んでいる三国丘陵です。気温の上昇に乾燥と豪雨そして、ウイルスなど、観察会をできないことも年に数回あります。過去の観察会の参加者の写真を見ていると懐かしくもあり、今は会えない方もいらして、寂しくなることもあります。過去の記録では、「こういうものも生育していた」とか、「普通にいたのに今は見つからない」などあって、残念にも思います。今後もこの地域の自然を記録していこうと思っています。

★ 観察会を 8 回開催(2021 年 6 月～2022 年 5 月まで)

2021 年 6 月は県の緊急事態宣言の延長につき中止 7 月 3 日 8 月は猛暑による熱中症対策として中止 10 月 2 日 11 月 6 日 12 月 4 日 2022 年 1 月 8 日 2 月はオミクロン株の急拡大とそれに伴う様々な不利益を考慮して中止 3 月 5 日 4 月 2 日 5 月 7 日 会報を 11 回発行、167 号(2022 年 7 月 1 日付)～177 号(2022 年 6 月 1 日付)まで

松永紀代子



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

◇和白干潟を守る会ナイス福岡(山本廣子会員)の主な活動報告

和白干潟の自然の大切さを伝える活動や自然を守る活動に取り組んで 33 年が過ぎました。2021 年度は新型コロナウイルス感染防止のために和白干潟の自然観察会の多くが中止になりました。コロナ感染が収まっているときに、和白干潟の観察会を 2 回開催できました。自然観察ガイド講習会は実施できました。和白干潟沿岸の植物についての講習会でした。クリーン作戦についてはコロナ感染予防のために、5 月と 9 月は一般に呼びかけをしないで、和白干潟を守る会有志と当日来られた方で行いました。他の月は一般への呼びかけをして実施できました。鳥類調査については、昨年度より調査員は集合せずに各調査ポイントに分かれて調査をし、記録と写真を送ってもらい集計しました。「環境省モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ調査」を年間 9 回実施しました。





1. 2021年7月6日(火)和白小学校5年生113名と先生4名の和白干潟自然観察会、和白干潟を守る会の自然観察ガイドは9名
2. 2021年10月23日(土)和白干潟のクリーン作戦と自然観察、43名参加、和白干潟を守る会会員は13名参加(毎月第4土曜日午後3時から開催しています。)
小学生の観察会に協力

で行いました。和白干潟を守る会の調査員は7名

◇ 山本勝 会員活動報告

●2021年1月以降、ほとんどの自然観察会、探鳥会など参加を自粛しました。
ひたすら個人 または家内と二人での散歩などで、他の人との接触を避けた観察活動のみカメラを片手に楽しみました。
その結果は、毎月の「くすのき」に「私のデジカメ日誌より」を投稿しました。
●2022年1月以降は、野鳥の会のガンカモ調査、県の野鳥生息調査など野外活動も増えつつあり、探鳥会などへの参加も徐々に増しているところです。
屋外での冬芽の観察などから、CD ケースを利用した展示品の試作「冬芽の森」など楽しんでいます。
ただ、コロナの状況は大きくは変わりませんので、「ウィズコロナ」の考え方で、恐る恐る手を広げている状況です。
外出先でのマスクの着用、手指の消毒、発熱管理、ソーシャルディスタンスの確保、など安易になりがちなこれらの規範を徹底しながら、新しい自然活動のスタイルを模索したいと考えます。



◇ つるた自然塾(鶴田義明会員) 主な活動(2021年度)

鶴田義明(つるた自然塾)

2021年(令和3年)

- 6.28 「環境わくわく出前授業」「樹木ウォッチング」(校庭、小学4年62名):福岡市環境局、福岡市立千早西小学校
- 8.29 集中講義「体験活動の指導法」「ネイチャーゲーム」(大学構内及び教室、学生17名):福岡教育大学
- 11.3 四季折々のネイチャーウォッチング⑤「古代の森散策と歴史発見」(吉野ヶ里歴史公園、大人14名):つるた自然塾
- 11.15・16 「環境わくわく出前授業」「種のふしぎ」(図工室、小学4年116名):福岡市環境局、福岡市立室見小学校
- 11.22 「環境わくわく出前授業」「樹木ウォッチング」(校庭、小学5年66名):福岡市環境局、福岡市立高宮小学校
- 11.27 「環境わくわく出前授業」「樹木ウォッチング」(公園、小1~中1年22名):福岡市環境局、香椎浜公民館
- 11.30・12.1 「総合的な学習」「種のふしぎ」(図工室、小学3年160名):筑紫野市立筑紫小学校

◇ NPO 法人グリーンシティ福岡 志賀壮史 最近の活動報告

その後もオンライン自然観察会をいろんな題材で行っています。長垂海浜公園からお届けした「砂浜の貝殻ウォッチング」。冬の湿地に入ってしまった「アカガエルの卵塊観察会」。木片を磨いて作った「オンライン de 木のマグネット」などなど…。現場での観察会や体験プログラムも再開しつつありますが、オンラインはオンラインでまた違った面白さがあるなと思っています。ブログのレポートもぜひご覧ください。

<http://www.greencity-f.org>



2) 《 2022 年(2022 年 6 月~2023 年 5 月) 活動計画 》

- * 九州歴史資料館周辺での観察会 三国丘陵の自然を楽しむ会に協力。奥山ではなく、すぐ足元にある身近な自然に目を向けてもらうために、今後とも観察会を継続。
- * 福岡県営春日公園での観察会協力予定と自然あそび館の活用
- * ナイス福岡のホームページ掲示板の活用

『春日公園でのいろいろな観察会』は継続して実施したい。

毎月第1火曜日 10時から12時まで 定期的な探鳥会

毎月第3土曜日 10時から12時まで 定期的な自然観察会

毎月第4日曜日 9時から12時まで 定期的な野あそびの紹介

◇「この場所で実施したい」という候補地を挙げて、みんなで協力して実施しましょう！

その他、自然観察を楽しみたい場所があれば、提案して下さい。自由な方法で、そして、みんなで楽しみ、自然保護を考えていきたいと思います。

毎月1回『第2金曜日』は、定例会で会報発送と情報交換を！是非参加してください。

3) 2021年度会計報告、2022年度予算

会計の宮原俊彦から報告。 参照。

4) 事務局体制 案 について

《2022年度役員 案》新しい会員の参加を希望しています。

代表：田村耕作、事務局長：小野仁

事務局：空席です。

編集：田村耕作、山本勝、松永紀代子、
 渋谷和美、宮野和子

渋谷和美、宮野和子

会計：宮原俊彦 監査：堀謙治、小湊正憲

会計報告：次号で報告します。

◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆

 会費振込について
会計年度は6月が

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2022年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000 円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？
 次回の定例会は **令和4年7月**

次回の定例会は、**令和4年7月8日（金）午後2時**より事務局で行います。令和4年7月号の原稿は、**7/5（火）**までに届くようにお願いします。**なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。**

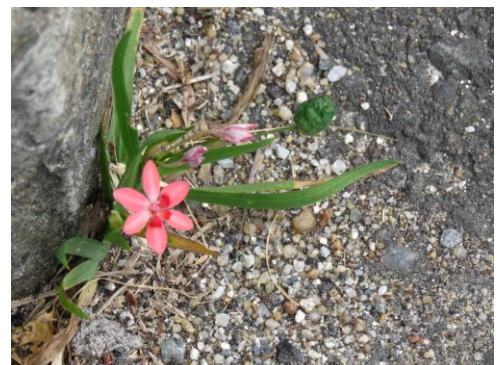
定例総会について

定例総会の議案を掲載しています。一読していただき、感想等をお知らせください。ご意見もお願いします。

編集後記 2022 年 5 月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

樋井川沿いを散策中、初めて見かけた花に出会いました。この花は川の護岸で道路との境目、しかも路上に降った雨を川に流す出口の傍でした。名前が分からないので、帰宅して、検索。見ると、ニワゼキショウに似ている。アヤメ科から探し、アヤメ科のフリージアラクサにたどり着きました。此の花の種がどなたかの庭あるいは植木鉢から路上に落ち、雨で運ばれ、発芽し花を咲かせたようです。実も見かけたので、仲間が増える可能性もありそうです。此花の生育環境とあえば、来年も見かけるかも。こうして外来の種が増えているのでしょうか。

こうして外来の種が増えているのでしょうか。



撮影：2022 6/1 城南区田島にて